



区議団7名勢ぞろいして台風19号救援募金にとりくむ（10月15日西新井駅東口）

いのち最優先の 防災対策を

区民アンケートの第一位は「防災対策」

繰り返される風水害で被災された皆さまに心からお見舞いを申し上げます。

第19回区民アンケートで「区政で力を入れるべき施策」の第一位は「防災対策」でした。日本共産党は、代表質問・決算特別委員会、災害オウム対策調査特別委員会で繰り返し質問をしました。イタリアの例を示して「一自治体でできることではない。避難所の環境改善を国をあげて取り組むよう働きかけを」と求めたのに対し区は「国は対応しているから意見を上げない」と答弁。区議団は「住民のいのちを守る立場に」と強く迫りました。

区内135か所で避難所開設

区議団は豪雨の中 各避難所で支援活動

足立区は人的被害はなかったものの、台風19号で区政史上初めて「区内全域に避難勧告」を発令し、135か所の避難所を開設しました。豪雨の中、区議団7名と斎藤まりこ都議会議員は約30か所の避難所（小中学校）をまわり、支援活動を行いました。



区内体育館の避難所

台風19号を 教訓にして

区議団は各避難所や避難所運営会議の関係者など 多くの方の意見を伺い緊急申し入れを行いました。

浮き彫りになった実態・声	提案・申し入れの内容
<p>●医療的ケア児が避難所で追い返された！ マンションの1階に住む母親と医療的ケア児が「避難勧告」を受けて学校に避難したところ「受け付けられない」と追い返され、自宅で不安な一夜を過ごした。他の医療的ケア児も避難したところ、理解がなく苦勞し、偶然居合わせた医師の助言によって救われた。</p>	<p>●災害・オウム調査特別委員会で改善を直ちに求める。「医療的ケア児をはじめ、障害特性の理解や、呼吸器のための電源の十分な確保を進めること。別室避難などの位置づけを明確にすること」「医療的ケア児や障害者を含む防災訓練へと改善すること」を緊急要望などでも提案。</p>
<p>●避難所が遠い！いっぱい！ 10月12日、朝8時の時点で開設した避難所は20カ所のみ。全避難施設の開設は22時53分。このため早くから開設した避難所に避難者が殺到、受け入れを断られる事態も起こった。暴風雨の中を区民に避難を強いる結果となった。</p>	<p>●葛飾区では、12日の昼頃に区内全小中学校のほか地域センターを含めた85カ所の避難所を開設した。自主避難所であっても開設は風雨が強まる前、避難に危険が及び前に全避難所の開設を目指すことを提案。</p>
<p>●防災無線が聞こえない！ 「暴風雨で何を言っているかわからない」「防災無線ダイヤルもつながらない」</p>	<p>●防災無線ダイヤルの改善・周知 ●個別受信機の導入・貸出 ●防災ラジオの導入・普及</p>
<p>●不自由な身体に、避難所はつらい！ 「手術後の高齢避難者。避難所に行ったが大変。急遽介護施設で受け入れてもらった」</p>	<p>●各学校に「福祉避難室」の位置付を明確化し訓練すること。「要援護者」「乳幼児」等、分けて教室に。ダンボールベッドを準備すること。</p>
<p>●避難所が暑い！環境改善が必要！ 多数の避難者により体育館の温度が上がるなど室内環境の悪化で体調を崩す方が出た。熱中症対策として配備されている大型扇風機の稼働を電源が落ちるからと認めない避難所もあった。体育館に続くスロープに屋根がなく、車いす利用者がトイレに行くのに雨カッパを着用しなければならなかった。多数の学校で雨漏りも発生した。</p>	<p>●災害時避難所となる学校体育館のエアコン設置を一刻も早く行うこと。 ●体育館のスロープに屋根を設置すること。 ●栗原小、西新井中など雨漏りをした学校の緊急改善。</p>



発行会派
日本共産党足立区議団
足立区中央本町1-17-1
足立区役所内
発行責任者 ぬかが和子
編集責任者 浅子けい子

みなさんのご意見をおよせ下さい

区議団 Tel.03-3880-5770 Fax.03-3880-5682
足立区議団メールアドレス acmp@blue.ocn.ne.jp
足立区議団のホームページ http://www.adachi-jcp.jp/

異常なためこみ
全国第3位
 (814市区の中で)
1523億円
 ↓
1620億円
 1年間で

ため込み基金残高全国順位表 (単位:億円)

順位	自治体名	2018年3月	2019年3月
1	大阪市	2406	
2	江戸川区	1831	
3	仙台市	1529	1395
4	足立区	1523	1613
5	港区	1484	
6	石巻市	1314	
7	大田区	1300	
8	千代田区	1140	
9	葛飾区	1139	
10	江東区	1071	
11	品川区	939	
12	世田谷区	866	
13	渋谷区	862	
14	気仙沼市	829	
15	豊田市	821	
16	練馬区	806	
17	中野区	724	
18	陸前高田市	678	
19	文京区	666	
20	いわき市	629	

※今年3月時点进行调查したところ、仙台市と足立区の残高が逆転。足立区が全国第3位に！さらに今年9月の時点の金額は過去最高の1620億円に。

「まだまだ貯める必要がある」自民党議員 区民には低い行政サービス。ガマンを強いることは認められません

日本共産党

子ども世帯に冷たい

就学援助

都内8区では、準要保護と要保護世帯どちらも入学準備金の引き上げを行いました。しかし、足立区では、準要保護の引き上げを行わず、小学生で15,762円、中学生で25,430円も要保護よりも少ない金額になってしまいました。準要保護の改善を求めたところ、区は拒否。真面目に働いている区民に冷たい態度です。

保育の無償化

国は幼児・保育の無償化と言いながら、副食費4500円の新たな負担をおしつけています。23区中18区は独自予算で完全無償化を行います。足立区は、国や都から約14億円も補助が入るのに、「無償化」に活用するのは7億円だけ。「完全無償化」を拒否しました。



不妊治療

子どもが欲しくても授からない方への不妊治療。国などの補助ではとてもまかなえないので都内19区市では上乗せ助成を実施。しかし、足立区は実施する姿勢はありません！

学校つぶし

全国では、小規模校でも学校を残し、地域の拠点とすることが流れになっています。足立区では適正規模の学校ですら統廃合し、きめ細やかな教育の願いに背を向け、地域の「避難所つぶし」にもつながる統廃合を進めています。



オリンピック・パラリンピック 課題が山積

都民の後年度負担、区長も懸念

主催都市の東京都の支出は、直接経費と関連経費で1兆4000億円にのぼり、さらに増額が必至と言われており、都民の後年度負担が懸念されます。「経費の透明性確保」のわが党の質問に、区長も「同様の懸念がある。透明性の確保を都に強く求める」と表明しました。

区内小中学生の観戦招待について、改善求める

特別支援学級の生徒を含む小学校3年生以上の全生徒が、パラリンピックを中心に観戦することになります。しかし飲み物持ち込み禁止、引率も限定、バス利用も、最寄駅の利用も禁止で、猛暑の中を一駅分余分に歩くなど課題が山積です。日本共産党が強く改善を求めたのに対し、区も児童・生徒の安全を第一に考え、強く要望すると表明しました。



本末転倒 プレミアム付商品券再通知に税金1860万円

安倍政権は消費税の増税に対する緩和策として、住民税非課税高齢者・子育て世帯へプレミアム付商品券事業を開始。足立区では7月上旬に対象者13万件に申請用紙を郵送しましたが、購入希望者は9月19日現在で約25%。全国的にも同様の傾向があることから、国は未申請者に対する再通知実施をするよう自治体に依頼をしました。

足立区では約9万5千件で、再通知にかかる費用は約1860万円に上り、すべて税金(国税)でまかなわれます。足立区だけでこの金額ですから、国全体でかかる費用は膨大です。国民には増税を押し付けながら、一方でむだ遣いを繰り返す消費税増税に怒りの声が上がっています。

写真で見る区議団の活動



7月3日「幼児教育・保育の無償化」に関する緊急要望提出



7月 自治体学校参加 地方自治を学ぶ



7月 ユニバーサル就労支援事業で 富士市を視察



7月30日 栗原つくし保育園を視察



8月5日 「熱中症予防」について緊急要望書提出



8月8日 重症心身障がい児 通園施設「つばさ」を視察



8月27日 予算にかかわる緊急要望書提出



9月 沖縄の今を学ぶ。 後方は、嘉手納基地。

区民の願いと共産党の提案で 区政を動かしました



45団体と懇談、アンケートの声をいかし、
846項目の2020年度予算要望を区長に提出

きこえの支援(補聴器購入補助)

高齢者の難聴は、会話から取り残されることで孤立したり、認知症のリスクとなるため、早めに補聴器をつけてトレーニングすることが重要であることから補聴器購入補助を求めてきました。今議会で、「高齢者の難聴が認知症のリスクになる事は知っている。補聴器給付の効果を鑑みて、他区も補助制度を始めているから補助について検討していく」と答弁し、新年度に予算化することを表明しました。

国保減免拡充への第一歩、踏み出す!

国民健康保険料の減免制度は、災害、倒産、失業など最悪の事態に陥る前に受けられるよう、他区の例をあげて改善を求めました。区は前年度の収入から激減した場合など、「他区の利用状況など視察を行い、要綱や運用の見直しを検討していく」と初めて前向きな答弁をしました。

住宅改良助成制度 改善検討へ

足立区の住宅改良助成制度は、「手すり設置」「段差解消」「間取り変更」に限られているため、昨年度も利用件数は20件と低迷しています。他の自治体では、震災に対する被害など、様々なリフォーム工事に対応できるものも多く、日本共産党は、繰り返し改善を求めてきました。今定例会で台風などの風水害や住環境の改善につながる工事も助成対象に加えることを求めたのに対し、「広く検討していく」と答えました。



障害者の“生”の声を届けて

障害者施策全般、大きく前進しました

▶手話通訳者の派遣費用、引き上げへ

足立区の手話通訳活動費は20数年間据え置かれ、交通費も出ていませんでした。区は新年度に予算化することを表明しました。

▶視力障害者の郵便物、順次改善

郵送物の封筒に音声コード、切り欠きがあるととても便利!との視力障害者の声に対し、「速やかに作り、更新の時期に切り替えていく」と答弁しました。

▶地域生活支援拠点、来年度設置

障害者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、相談、緊急時の受け入れ・対応ができる地域生活支援拠点を「設置が必要と認識している」と答弁しました。

▶オストメイトの備蓄、実現

災害時に備え、オストメイト利用者の命綱のストーマ装具を、「竹の塚障がい福祉館でお預かりし、保管できるように検討を進めている」と答弁しました。

▶医療的ケア児

就学支援、相談支援体制、放課後等サービスへの加算など3つの提案に対し、区は前向きな答弁をしました。

▶高次脳機能障害者の支援充実

交通事故や脳血管障害で脳が損傷され認知機能に障害が起きる高次脳障害者。区との共同事業としてさらなる充実はかることや、施設の移転場所確保に向け支援すると表明しました。

減り続ける区民農園対策 農園付き公園を提案

区民農園は、無償で農地をお借りし開設しているため、相続問題などで減少の一途で、この10年間で13カ所1245区画が廃止され、残りは12園です。日本共産党はこれまでも遊休区有地や公園の活用による増設を提案してきましたが実現しませんでした。

今議会では横浜市で実施しているような、維持管理が困難になった農地等を区が買い取り、農園付公園として整備するよう提案、区も「横浜市等を参考に協議を行う」と答えました。

7人が力を合わせて様々な質問・提案をしました

- 高齢者、障害者世帯へのエアコン設置支援
- ユニバーサル就労支援
- 歩道の段差解消とエスコートゾーン整備
- 保育所の人材確保
- 新田学園問題
- 保健センターの外部委託の撤回
- 小規模工事希望者登録制度の改善
- 街路樹ガイドラインの作成
- 綾瀬駅、西新井駅周辺への図書館整備
- 区内図書館の充実
- 小学校図書館への司書配置
- 天空劇場の付帯設備使用料の見直し
- ホールやギャラリーの増設
- 東京女子医大誘致に関して
- 日暮里舎人ライナーの混雑緩和と「江北」駅名変更について
- 介護保険料の引き下げ
- 紙おむつやシルバーカーの支給要件改善
- ごみの個別収集
- 老人クラブへの助成金の拡充
- 地域包括ケアの充実
- 特養ホームの増設
- 介護職員の処遇改善
- 交通空白対策
- 区内ベビーホテルにおける虐待問題
- プラスチックによる海洋汚染やサーマルリサイクルなどの環境問題
- 小中学校の改築
- 区の奨学金制度の改善
- 西新井駅ビル解体とエスカレーター整備
- SDGsの取り組み
- 放射能汚染対策